

提出順	13	発言順	14	令和 5 年 6 月 5 日
				午前・午後 9 時 4 分受領

(3 枚中 No. 1)

令和 5 年 6 月 5 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 増田 望三郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	黒沢洞合自然公園の隣地開発について		
質問の要旨 (具体的に記載してください)  黒沢洞合自然公園の拡張整備事業が進んでいる。里山の豊かな自然環境や動植物と触れ合える自然公園として、より一層の活用がされることを期待する。 一方、この公園隣地の民有林を伐採し、太陽光パネルを設置する民間事業者の開発案件があったが、市は申請を不認定とした。			
1, この開発案件を不認定にした理由は (市長) 2, 洞合自然公園と一体的でその魅力を創り出す隣地民有林で、今後このような開発が起こらないためにも、市として何らかの方策はあるか (農林部長、教育部長) 3, 太陽光条例は、過剰な私権制限だとする有識者もいるが、市の見解は (			

提出順	13	発言順	14	令和 5 年 6 月 5 日
				午前・午後 9 時 4 分受領

(3 枚中No. 2)

令和 5 年 6 月 5 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 増田 望三郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	子どもたちも、先生も、ワクワクして行きたくなる学校づくり		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 市は一部過疎地域指定となった明科において、ハード・ソフト双方の施策を展開し、地域住民と共に新たな活力を生み出そうとしている。その中で本年度、児童数の少ない明北小学校では少人数ならではの特色ある学校づくりを進め、学区外からも通学できる小規模特認校制度の検討を開始した。地域のシンボリックな存在を失わないための方策であるが、では学区外からも通いたくなる学校とはどのようなものか。またどのような過程を踏んで学校のグランドデザインを描くのか。明北小に既にある実践と保護者、児童、明科地域の人々の思いをベースにしながらも、幅広い議論を通じて豊かな学校のデザインを描き、子どもも先生もワクワクして行きたくなる学校を創れないか...			
1, 市長は明北小を統廃合しないと明言されている。改めてその真意を伺う。(市長) 2, 小規模特認校制度を取り入れる目的は何か(教育長) 3, 他校区からも通いたくなるほどの特色や魅力ある小学校とは ① 市が考える「特色」とはどのようなものか。(教育長) ② そもそも少人数であることの価値を市はどのように捉えているか。(教育長) ③ どのような子どもが対象になるのか。(教育長)			

提出順	13	発言順	14	令和5年6月5日
				午前・午後 9時4分受領

(3枚中No. 3)

令和5年6月5日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 増田 望三郎

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	子どもたちも、先生も、ワクワクして行きたくなる学校づくり		

4. どのように中身の議論を進めていくのか。

- ① 明北小校区の保護者や地域の意見は (教育部長)
- ② 先生たちにとってもワクワクする学校を (教育部長)
- ③ 子どもが意見を表明する権利～子どもたち自身にどんな学校ならワクワクするかを聴いてみよう～ (教育長)
- ④ 全市的な市民への広聴は (教育長)
- ⑤ 広範な議論をもとに基本計画を (教育長)

5. 改めて問う。明北小は、今通う子どもたちも、通学区外の子どもたちも、そして先生たちも、ワクワクして行きたくなる学校になるか。(市長、教育長)